

たのしい  
レイアウト

# レイアウトって？

まず、読者の目に飛び込んでくるのはデザインです。つまり、デザインがそのページの第一印象を決めます。ここで読者の興味を引き出せなければ、そもそも文章を読んでもらえないかもしれません。みなさんが手掛けるのは、基本的に文章ありきでのデザインですから、読んでもらえなくては意味がありません。したがって、読者の興味を引き、かつ読みやすいように文章や画像を配置する必要があります。それがレイアウトです。

## いろいろ見てみよう

●雑誌      ●ポスター      ●Web デザイン

●フリーペーパー

WASEDA LINKS   Re:ALL   ENJI など

# 1. ととのえる

均等に、そして規則的に並べる。それが失敗しないレイアウトの第一歩です。

パン概論		梶寺コパン
内容 ☆☆☆☆		
単位 ◇◇◇◇		
出席 : 毎回・名	内容	先生がただひたすらパンについての愛を語り、それを聞くだけの授業。
教材 : レ		
課題 : レ・普		
試験 : 末・×		
形式 : 記		
レポート : 無	単位	美味しいパンを食べて、感想を書くだけで単位が来る。
プレゼン : 無		

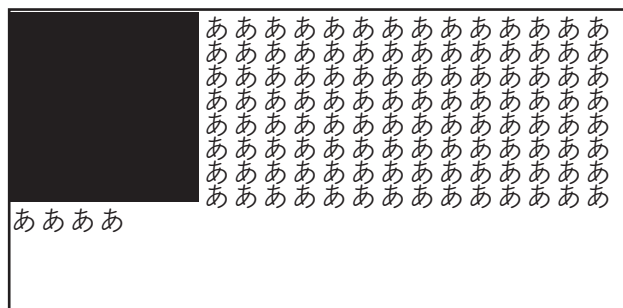
パン概論		梶寺コパン
内容 ☆☆☆☆		
単位 ◇◇◇◇		
出席 : 毎回・名	内容	先生がただひたすらパンについての愛を語り、それを聞くだけの授業。
教材 : レ		
課題 : レ・普		
試験 : 末・×		
形式 : 記		
レポート : 無	単位	美味しいパンを食べて、感想を書くだけで単位が来る。
プレゼン : 無		

右のほうが見やすいでしょう。どちらが、なんて尋ねるまでもありませんね。

▶ 整列ツール ▶ グリッド

# 2. 余白をもたせる

文字や画像をこれでもかと詰めてしまえば、当然見づらい。かと言って、がらんとしたレイアウトではなんだか寂しい。ほどよい余白を作ることが求められます。ちなみに、余白が多い方が文章は読みやすいです。



画像と文字の間、文字と文字の間、ページの端と中身の間隔を考える事は重要です。

# 3. 文字を考える

フォント選びはとても重要です。タイトルとして読者の目を引き、本文として読者の目に長く触れるものだから。多少の時間をかけてもいい。自分のイメージに合ったフォントを見つけましょう。

ヒラギノ角ゴシック

筑紫 A 丸ゴシック

游ゴシック体

ヒラギノ明朝

うずらフォント

游ゴシック体

食パン

食パン

食パン

同じフォントでも、太さが違うとこんなに印象が変わります。

6pt 7pt 9pt 12pt 21pt 36pt 48pt

使う場所に応じて、文字サイズを考えましょう。

## 4. 色と画像を考える

色には相性があります。その組み合わせ次第で、デザインを傑作にも駄作にもできるのです。むやみに多くの色を使うことは避けるべきでしょう。また、画像を配置する場合には、その画像の色も考慮に入れる必要があります。



色と画像は、印象を大きく左右します。

▶ スウォッチパネルとカラーパネル

▶ Photoshop

## 5. よくばらない

よくばりすぎではいけません。要素が多すぎるとデザインにまとまりが出ないのです。時には、思い切って「引く」ことも大切です。ときどき作業の手を休め、レイアウトと向き合ってみてください。その要素、本当に必要ですか？